

3月議会一般質問項目

平成23年3月15日(火)午前9:00～

全議員：一問一答方式を選択

質問 順番	議員名	項目
1	4番 船渡 洋子	1. 支えあう地域社会づくりについて (1) 地域見守り活動事業とはどのような活動か (2) 団塊の世代が大量に高齢者の仲間入りし、地域に戻ってくる時代であることから、元気な高齢者が地域の高齢者の手助けする団塊世代のサポーター登録、団塊世代の地域福祉の戦力化が大きなカギになると思いますが取り組みは (3) 買い物弱者の対策は 2. 不育症治療の助成について (1) 不妊治療の助成がおこなわれていますが状況は (2) 少子化対策として不育症治療に助成制度の創設を提案いたします。また流産されたかたの中には不育症の事を知らないかたも多く不育症を周知徹底させることが必要では
2	8番 安藤 重夫	1. 外国資本による森林買収について 2. NHKニュースによる天気予報について 3. 農地について 4. 小学校の英語教育について
3	12番 若原 敏郎	1. 東海環状自動車道の今後の事業計画は (1) 開通が大きく遅れるが、県からの事前の報告は (2) 本巣市では、本年度の事業展開は (3) 県・国に対して早期開通の要望は 2. 一般市営住宅の現状と今後の施策は (1) 市営住宅の利用率は (2) 福祉住宅化への改装はどうか (3) 将来を見据え、公営住宅施策は 3. 地域活性化への取り組みは (1) 具体的な構想があればお尋ねします (2) 市民との協働が必要ですが、どう巻き込むのか
4	18番 鵜飼 静雄	1. 住宅リフォーム助成制度について 2. 後期基本計画、第2次行財政改革大綱等に関連して (1) 自治基本条例制定について (2) 指定管理者制度について (3) 市民負担増について (4) 第1次行政改革に対する認識について

5	2番 鏑本 規之	<ol style="list-style-type: none"> 1. 樽見鉄道の今後と補助金について <ol style="list-style-type: none"> (1) 今後についての市長の考え (2) 補助金の負担割合について (3) 経営権の取得について 2. 弁護士などの資格を有する者を市の職員として採用しては 3. 善通寺西の上高屋地内道路舗装工事について <ol style="list-style-type: none"> (1) 緊急性について (2) 安全性について (3) 地域の要望に対する施工順位の設定について
6	3番 黒田 芳弘	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新年度子ども手当の諸問題について <ol style="list-style-type: none"> (1) 新年度案では、3歳未満に7,000円を上乗せすることとなっており、22年度子ども手当とは異なり、業務の負担が増えることとなります。特に中学生以下という、学年で区別されていたものが、年齢に切り替わると、非常に複雑なものになるが、業務への影響は (2) 廃案となった場合、旧児童手当が復活することとなるが、子ども手当創設時、税制上、年少扶養控除が廃止されており、手取り減となる世帯がでてくるが対策は (3) 廃案による旧児童手当復活に伴ない、次のような事態が想定されます。 <ol style="list-style-type: none"> 1, 窓口業務の混乱による他の住民サービスの低下 2, 子ども手当の需給資格を消滅させ、児童手当の申請・所得審査が必要 3, 転入者の所得確認は、前住所地から証明書を取り寄せるなど、煩雑な手続きが必要 4, 法案審議の行先きが不透明なため、的確な広報は難しく、対象者からの問い合わせが急増する 5, 所得確認や電算システム改修等が必要となり、支給までの日数や余分な費用がかかる など、業務に大きな支障がでることが想定されるが、対応は (4) 子ども手当については、衆院マニフェストで国民と約束した全額国庫負担を実行することが当然であるが、11年度案では5,549億円が地方負担となります。 本市の新年度予算にも地方負担が含まれているが、この公約違反に対し、地方自治体の首長として政府に対し、全額国庫負担を強く求めるべきであると考えますが 2. 脱ゆとり教育（新学習指導要領）について <ol style="list-style-type: none"> (1) 行政関係の対応と、保護者や関係者への説明と周知は万全か

		<p>(2) 改正による学校行事や課外学習、総合的学習への影響は</p> <p>(3) 児童、生徒の均衡な学習取得が心配されます。対応は</p> <p>(4) 学習内容が大きく変わる(多くなる)ことにより、学年間で格差が生じ、特に大学受験時、現役と浪人生間では不公平な受験となるのでは</p> <p>(5) 小1プロブレム、中1ギャップへの対応は</p> <p>3. 鳥獣被害防止への新しい取り組みについて(サ、イ、シ、ソ)</p> <p>(1) 今年度の被害状況と、駆除数及び、近年の傾向や推移についてはどのような状況か</p> <p>(2) 猟友会へ委託し、駆除をおこなっていますが、固体数管理の状況は</p> <p>(3) 本市のように、被害が広範囲で発生している地域では、地域単位による駆除班編成と、わな免許(箱・囲い・くくり)の取得促進による新たな被害対策の担い手育成が必要ですが</p> <p>(4) 鳥獣の隠れ場所となる里山整備や、農作物、果物の収穫残り、生ゴミをなくし、エサ場をつくらない徹底など、地域、集落が一体となった取り組みが大切であるが</p> <p>(5) 捕獲鳥獣を食材資源とした活用促進は</p> <p>4. 旧長嶺小施設の有効利用活用について</p> <p>5. これからの樽見鉄道について</p> <p>(1) 国や県は、地域公共交通の支援制度の見直しを進めており動向を見極めるうえで12年度まで支援を継続すると合意されたようであるが、新たな支援がなかった場合は、本巣市も支援を続けることは難しいのか</p> <p>(2) 樽見鉄道の取締役である市長は経営に参画できないのか</p> <p>(3) 支援を続けることは、存続が大前提にあるはずだと思います。行政として、金銭的支援の他にできること、やらなければならないことは何か</p> <p>(4) 市民の間で存続と廃止の意見が交差する中、市全体で考え議論する機会が必要と考えますが</p> <p>(5) 樽見鉄道について、市長から市民へのメッセージが必要と考えますが</p>
--	--	---

3月定例会の一般質問日は、3月15日(火)の1日間となります。